

統合報告書 2023

2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）

ITで、社会の願い叶えよう。



TIS株式会社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
【お問い合わせ】企画本部 経営管理部 IR・SR室 TEL: 050-1702-4115 E-mail: tis_ir@tis.co.jp
<https://www.tis.co.jp/>

TIS202309

証券コード:3626

私たちの使命は、
 先進的なデジタル技術やノウハウを駆使し、
 これまでにない新たな発想とやり方で
 世の中が抱えている課題を解決すること。
 それによって社会にさらなる活力と彩りを与え、
 昨日より笑顔であふれる未来を創造したい。
 ITには、明日をもっと明るくする力があるはずだから。

ITで、社会の願い叶えよう。

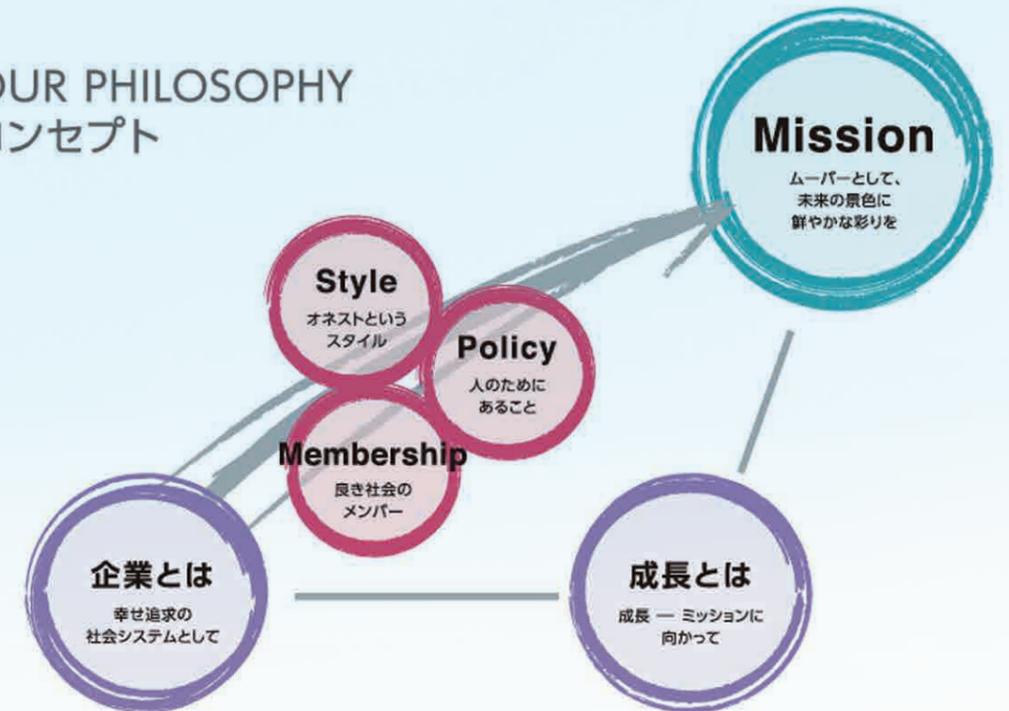


グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」

「OUR PHILOSOPHY」はTISインテックグループの価値観です。
 グループの経営、企業活動、役員や社員などの構成員において、大切にしている考えやあり方を
 幅広く明確化しており、当社グループのすべての営みはこの「OUR PHILOSOPHY」を軸
 に行われます。

Mission | ムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りを

**OUR PHILOSOPHY
 コンセプト**



経営のプラットフォーム

TISインテックグループの経営には明確なプラットフォームがあります。経営モデルといってもよいでしょう。企業はステークホルダーと価値交換する「幸せ追求の社会システム」という思想をバックボーンとして、TISインテックグループをより生き活きとミッションに向かって前進させるために「社会的」「人間的」「合理的」アプローチから組み立てたものです。ここではその中から以下の2つのモデルをご紹介します。

TISインテックグループは、「3Vマネジメント」を経営の基本プラットフォームとしています。
 3Vマネジメントとは、Values (価値観経営)、Vision (ビジョン経営)、Vitality (活力・文化経営)の3つの「V」の推進を経営の基軸に置くマネジメントモデルです。

TISインテックグループは経営を行っていく上で「CPS」の考えを大切にしています。
 CPSとは、Culture-oriented、People-based、Social-perspectiveの頭文字を取ったもので、立地する国や地域の文化に立脚し、人に基軸を置き、社会性の向上を志向するものです。



編集方針



当社グループでは、統合報告書を株主・投資家の皆様をはじめとした全てのステークホルダーの方々との対話のための重要なツールと位置付けています。本報告書では、当社グループの持続的な企業価値向上に向けた考え方や取り組みについて、より分かりやすくご理解いただくために、重要な財務・非財務情報を関連付けながら特にお伝えしたい重要性の高い事項を中心に編集しています。経営トップによる中長期的な成長戦略の説明に加えて、今回の特集記事では、事業構造転換におけるサービス型事業の推進状況や、経営戦略と人材戦略の連動による持続的な企業価値向上の実現に向けた取り組みをご紹介します。より詳細な情報は当社Webサイトをご参照ください。

本報告書が、皆様の当社グループに対する理解促進の一助となり、また、皆様との対話の充実に役立つことを願っています。

報告範囲
TIS単体、TISインテックグループ
発行年月
2023年9月

免責事項：本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が冊子作成時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本報告書に掲載されている商品またはサービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。

目次

01	イントロダクション	グループ基本理念「OUR PHILOSOPHY」	1		
		編集方針	3		
		TISインテックグループについて	5		
		数字で見るTISインテックグループ	7		
		ITサービス市場における位置付け 連結財務・非財務ハイライト	8 9		
02	トップメッセージ	トップメッセージ	11		
03	TISインテックグループの価値創造	サステナビリティ経営	17		
		成長の軌跡	19		
		価値創造プロセス	21		
		価値創造の源泉・競争優位性	23		
		ステークホルダーエンゲージメント	25		
		マテリアリティとサステナビリティ推進	27		
		マテリアリティに関する取り組みと目標	29		
		ステークホルダーダイアログ	31		
		04	価値創造を実現するための成長戦略	長期視点で目指す方向性	33
				副社長メッセージ(事業戦略)	35
過去の中期経営計画振り返り	39				
中期経営計画(2021-2023)の概要	40				
中期経営計画の重点戦略	41				
～DX・サービス・決済・グローバル・経営高度化・人材～					
[特集座談会] サービス型事業の取り組み状況	53				
コーポレート組織管掌役員メッセージ	57				
財務投資戦略	58				
セグメント別事業戦略	61				
05	価値創造を支える基盤	取締役会議長メッセージ	69		
		社外取締役メッセージ	70		
		コーポレートガバナンス	71		
		コンプライアンス/情報セキュリティ/個人情報保護	83		
		リスクマネジメント	85		
		地球環境のために	89		
		従業員とともに	93		
		お客様とともに	97		
		ビジネスパートナーとともに	98		
		株主・投資家とともに	99		
		地域・社会とともに	100		
品質管理/生産革新	101				
知的財産	103				
研究開発	104				
[特集対談] サステナビリティ経営×人材戦略	105				
06	企業情報/データ	財務概況	109		
		連結財務サマリー/非財務サマリー	111		
		会社データ/社外からの評価	117		

TISインテックグループの3つの特徴・強み

1. 強固な経営基盤

「幅広い顧客基盤」「充実した事業基盤」「安定した財務基盤」の3つの要素から構成され、事業を推進する大きな原動力と、良好な財務健全性と資本効率性を有しています。

2. 決済領域における圧倒的なプレゼンス

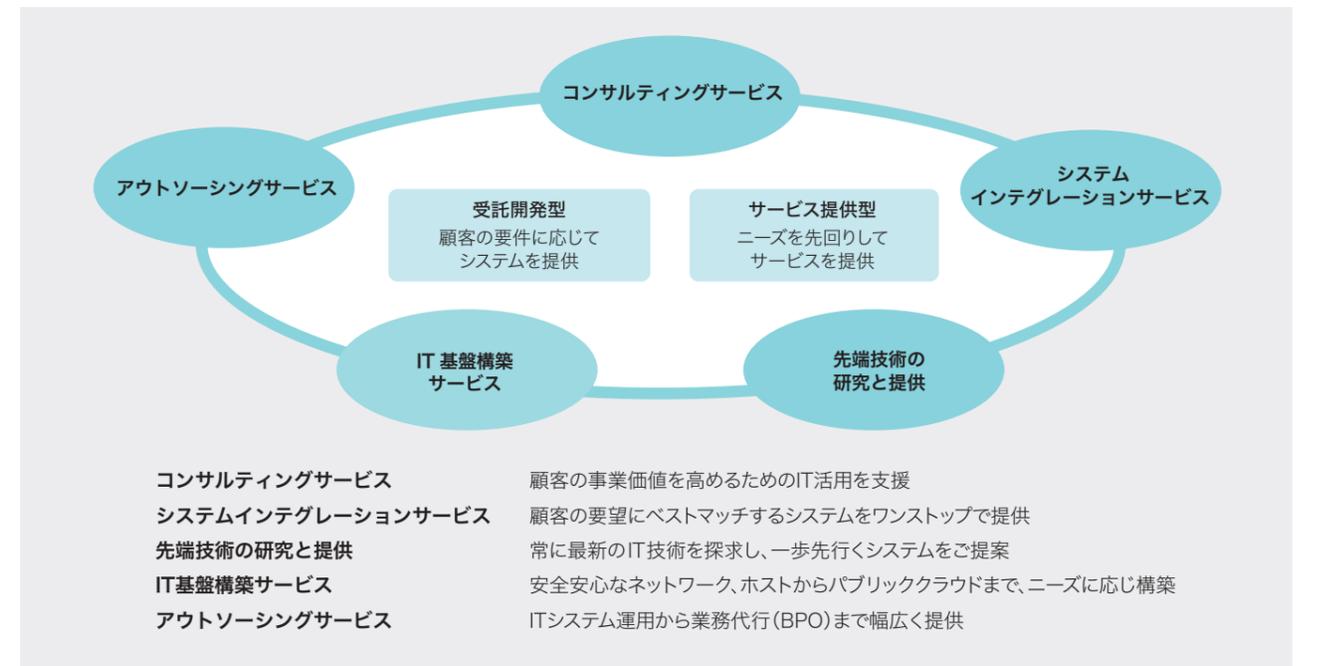
決済領域において日本を代表するシステムインテグレーターの地位を確立しています。また、SIビジネスで培ってきた強みを活かし、技術革新と決済の多様化に対応したサービス型ビジネスをいち早く推進しています。

3. 独立系による柔軟・スピーディーな経営戦略

当社グループは、親会社を持たない独立系の最大手として国内トップクラスの地位を確立しています。支配株主を有さないことによる経営の独立性を活かして、迅速な意思決定に基づき、積極的かつ柔軟でスピーディーな事業展開を推進しています。

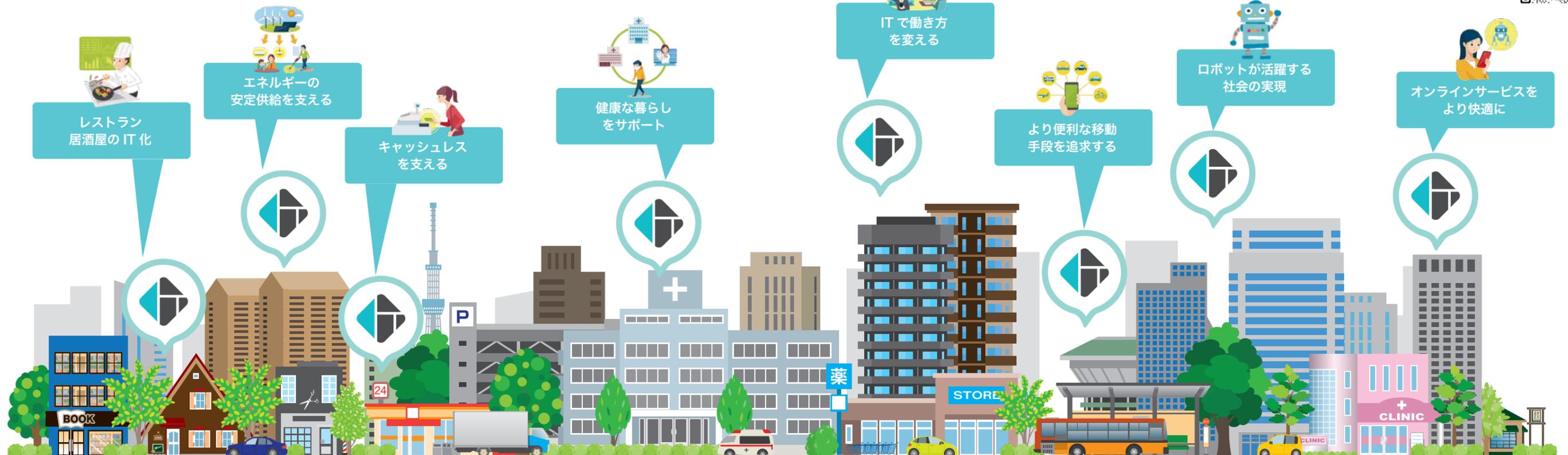
事業活動

当社グループはお客様企業に寄り添うITのスペシャリストとして、ITサービス全般を幅広く手掛け、ワンストップで最適なサポートを実現しています。ITサービスで社会の至るところにある当たり前を支えており、事業を通して、社会課題の解決に貢献しています。



ITサービスの提供で様々な社会課題を解決

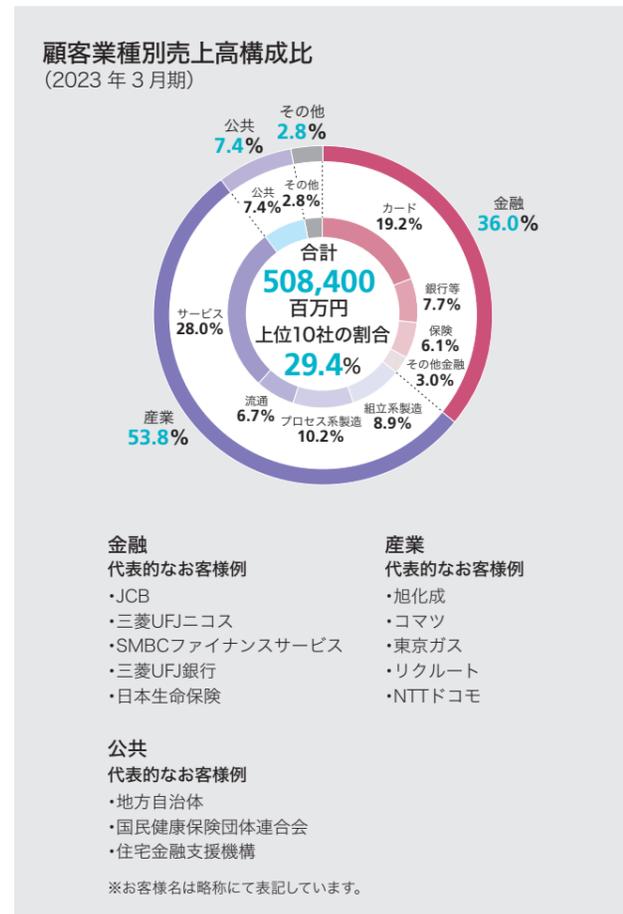
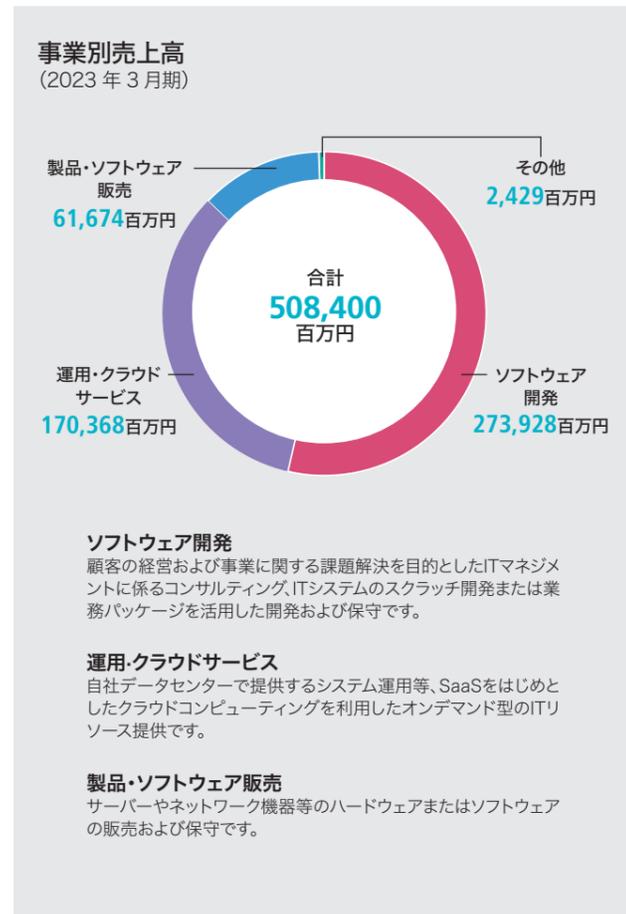
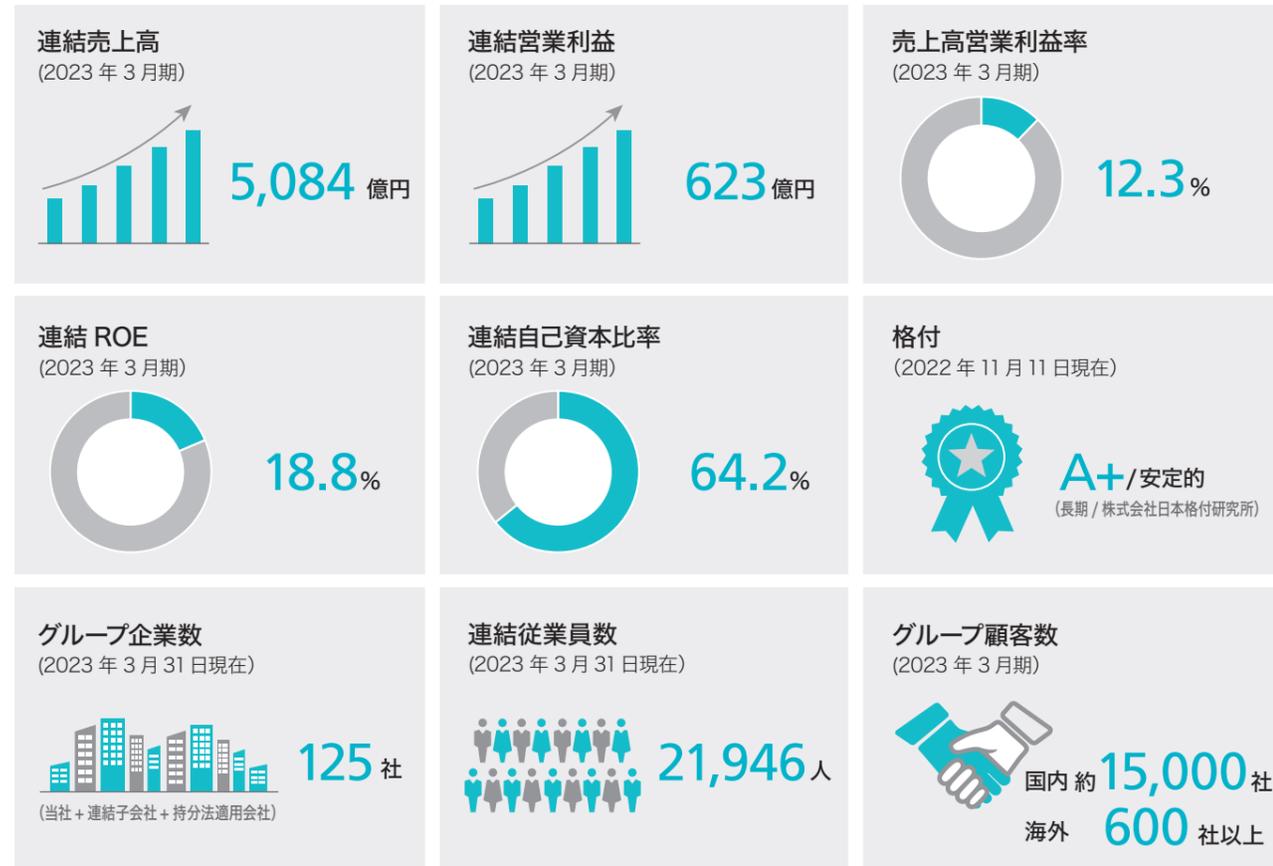
～こんなところにTISインテックグループ～



※当社Webサイト「こんなところにTISインテックグループ」
(<https://www.tis.co.jp/group/konnatokoroni/>)より



数字で見るTISインテックグループ

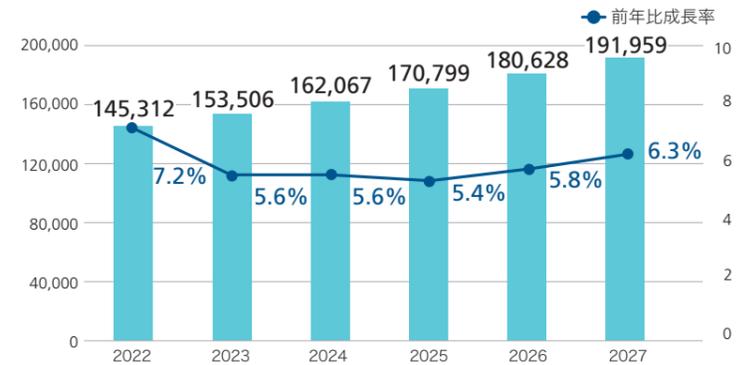


ITサービス市場における位置付け

当社グループは、企業におけるデジタル技術の積極的な活用等を背景として持続的な成長が見込まれるITサービス市場において、独立系・プライムコントラクターのリーディングカンパニーの地位を確立しています。

日本のITサービス市場規模予測

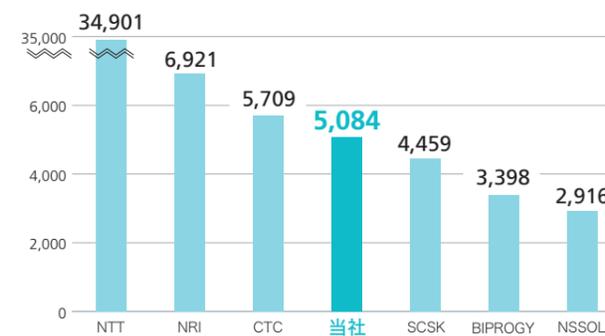
(単位：億円、%)



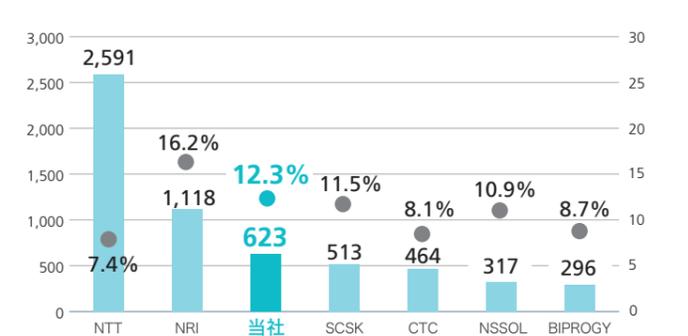
※ Gartner®, 2023年2Q版日本のセグメント別ITサービス市場規模予測
M. Sawai/2023年7月24日
エンドユーザー支出額ベース
GartnerのサーチをもとにTISにて図表を作成
本レポートにおけるGartnerを情報源とした全ての記述は、Gartnerのクライアント向け配信購読サービスの一部として発行されたデータ、リサーチ・オピニオン、または見解に関するTISによる解釈であり、Gartnerによる本レポートのレビューは行われておりません。Gartnerの発行物における見解は、その発行時点における見解であり、本レポート発行時点のものではありません。Gartnerの発行物で述べられているのは、見解であって事実ではなく、事前の予告なしに変更されることがあります。GARTNERは、Gartner Inc.または関連会社の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.

国内主要ITサービス企業比較 (2023年3月期) ※1

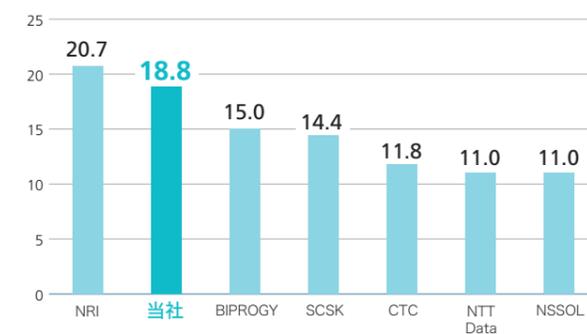
売上高 (単位：億円)



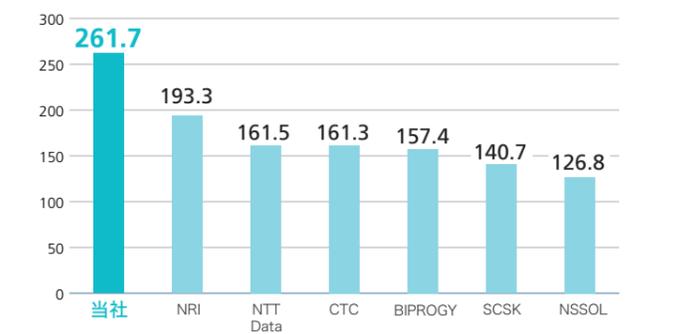
営業利益、営業利益率 (単位：億円、%)



ROE (単位：%)



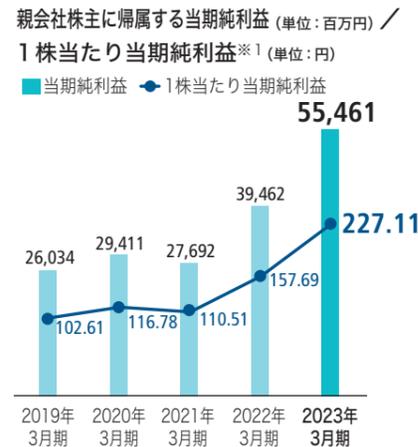
株主総利回り (TSR) (単位：%)



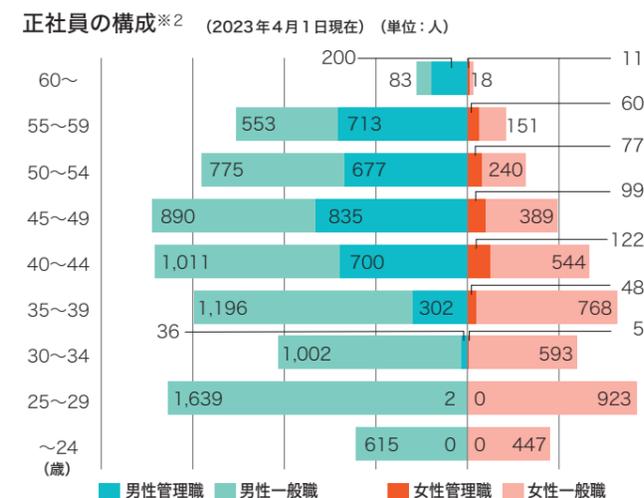
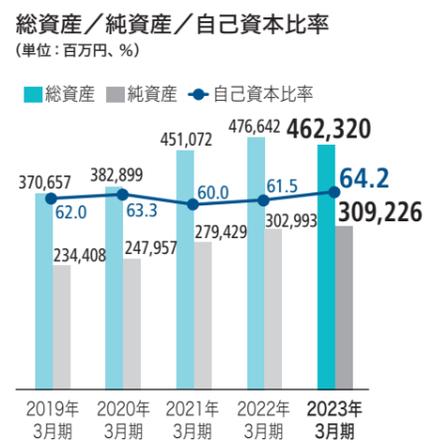
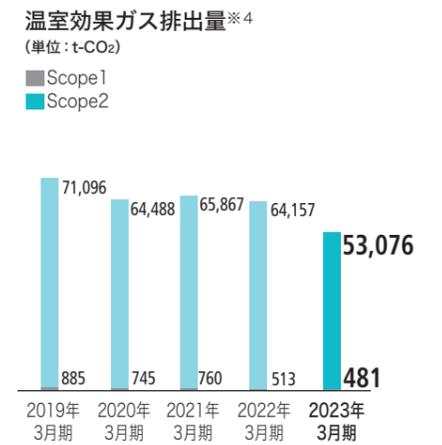
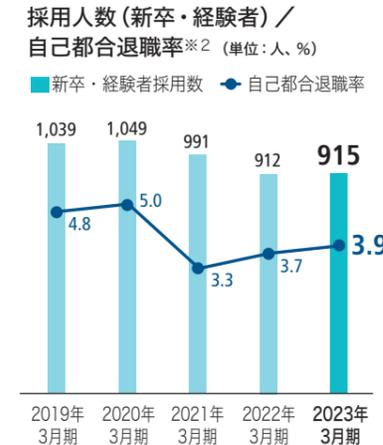
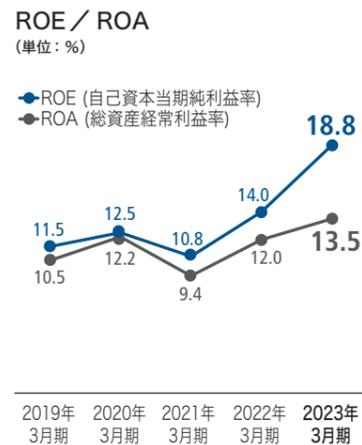
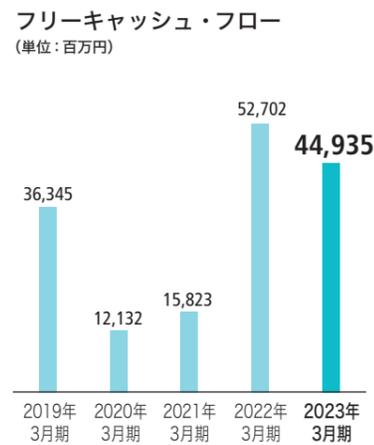
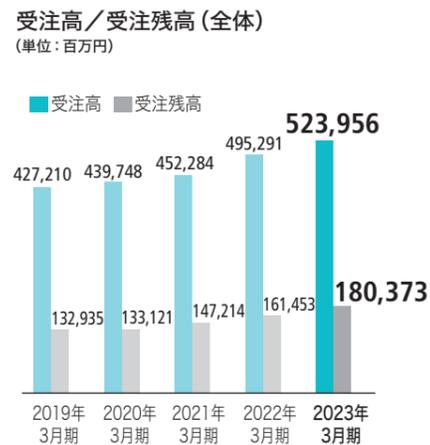
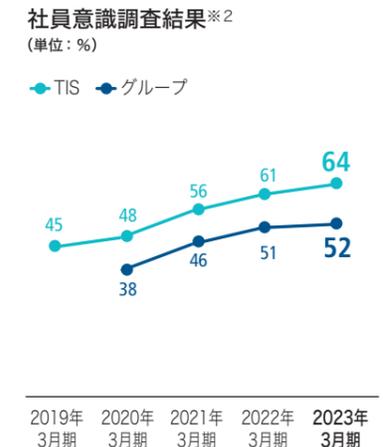
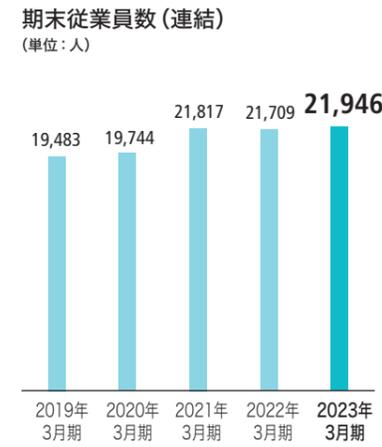
※ 2018年3月末の株価を100%として算定しています。

※1 NTT Data、NRI、CTC、SCSK、BIPROGY、NSSOLはそれぞれ株式会社NTTデータグループ、株式会社野村総合研究所、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、SCSK株式会社、BIPROGY株式会社、日鉄ソリューションズ株式会社の略称です。NTT Data、NRI、CTC、SCSK、BIPROGY、NSSOLは国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。

財務ハイライト



非財務ハイライト



※1 当社は、2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の株式分割を行っており、2020年3月期以前の数値については、当該株式分割の影響を考慮しています。
 ※2 グループ主要7社(TIS株式会社、株式会社インテック、株式会社アグレックス、クオリカ株式会社、AJS株式会社、TISシステムサービス株式会社、TISソリューションリンク株式会社)を対象として集計しています。
 ※3 2019年3月期、2020年3月期、2021年3月期、2022年3月期、2023年3月期の集計基準日はそれぞれ2019年4月1日、2020年4月1日、2021年4月1日、2022年3月31日、2023年3月31日です。
 ※4 当社および連結子会社(国内)12社、(海外)9社を対象として集計しています。
 集計範囲や非財務データの詳細については「ESGデータブック」の「6. 非財務情報一覧」をご参照ください。
https://www.tis.co.jp/group/sustainability/esg_databook/